

mb! magazine

武蔵野美術大学校友会 2015年12月 65,365人

Long Interview

ムサビの仲間・絆 vol.29

永井 聡

CMディレクター・映画監督

Information

2015年度総会・「アート&デザイン」開催報告
2016年度「アート&デザイン」開催予告

Alumni's News

ESSAY わたしのつくること、生きること
ESSAY 海外からこんにちは
校友発掘キャラバン

Branch's News

北から南から(山形、長野、芸空の会)
支部活動報告／新人賞
支部長・事務局長交代／支部カレンダー

News Topics

新常任幹事紹介／新インタビュー紹介
同窓会通信／校友作品紹介支援／会員訃報
後援実績／奨学募金寄付リスト
2015年校友会奨学生／芸術祭
「サロン風月」開催報告

MAU Information

恩師訃報
卒業・修了制作展
竹山実賞のお知らせ
ムサビ展覧会／ギャラリーαM展覧会
パリ賞受賞者・募集／80周年奨励奨学金
武蔵野美術大学校友会 推薦ツアー

No. 101

2015年度 定期総会・「アート&デザイン」開催報告



武蔵野美術大学校友会
会長 井上揺子

季節は秋、支部からの数々の活動報告に刺激され、本部と学科支部も芸術祭の「サロン風月」をパワーアップします。在校生にも認知されてきました。来年はあいちトリエンナーレ直前の名古屋で再会しましょう。

翌日の総会サミットのテーマは「校友発掘キャラバン」。魅力ある校友を発掘してみんなで盛り上げてゆこう！という立ち上げたばかりの企画に、どうやって発掘したら良いかたくさんのご意見をいただき、人材豊富なムサビ卒業生には発掘されるべき人が大勢いると愉快な認識をしました。取材が追いつかないかもしれません、応援お願いします。

今年の「アート&デザイン2015 埼玉」は、懐かしの映画館に響くアコーディオンの音色で始まりました。伝統建築を再活用するまちづくりや「生活と自然がこのやうに密接している処」(国木田独歩)に育まれたアートのトークセッション。そして小雨模様の蔵の町に飛び出して、今この町に息づくアートを体感した一日でした。

総会行事を終えて

7月5日(日)

定期総会

会場:大学鷹の台キャンパス12号館8F第一会議室

第1号議案 2014年度事業・活動報告、第2号議案(1.2)2014年度決算報告書案ならびに会計監査報告、第3号議案 役員改選案、第4号議案 2015年度事業・活動計画案、第5号議案 2015年度予算案、第6号議案 校友会会則改定案(準会員入会基準)の全てが、承認されましたので、ここに報告します。ありがとうございました。(校友会会則5章第15条・5項に基づき条件を満たし成立)

※ 新任幹事紹介は本紙13頁News Topicsに掲載

総会行事に参加して

前日の「アート&デザイン埼玉」に続き、7月5日の大学での総会に支部長として、初めて出席しました。前夜の懇親会で、長澤学長、森教授や学科同期の石川支部長、また支部事業にて既に面識のある方々と歓談し、中でも森教授が私の居住地姫路に縁があり、身近な話題でも和みました。その余韻の残る総会では大学の現状や抱える課題を聞き、また校友会、支部活動の情報交換やワークショップから支部活動へのヒントもいただきました。

兵庫支部長 中山栄一郎(79学建)



MSBサミット

会場:大学鷹の台キャンパス12号館8F第一会議室

全国支部代表者、大学、本部役員によるグループ討議

11グループに分かれて、ファシリテーターを中心に、今年からはじまった「校友発掘キャラバン」の候補者推薦、方法、効果などについて意見を出し合い、グループ毎に発表しました。早速この紙面(9頁)でも紹介しています。

MSBサミットに参加して

福岡支部で事務局を務め3年、初めてMSBサミットに参加させていただきました。テーマは「校友発掘キャラバン」ということで、各地に散らばるムサ美生を発掘することは、各校友会支部の活動を盛り上げることにも繋がります。在学中にはなかなか気付かせませんでした、ムサ美はユニークな人材の宝庫です。アート、デザイン以外の分野で活動をしている方を発掘するのも変化があって面白いと思いました。

福岡支部事務局 本多孝男(00学空)

7月4日(土) 第21回武蔵野美術大学 地域フォーラム

「アート&デザイン2015埼玉」アート武蔵野一埼玉からアートを考える
会場:川越スカラ座(埼玉最古の映画館)

第一部 講演/シンポジウム

- ・「大学教育の現場から、川越という都市を考える」
源 愛日(建築家/武蔵野美術大学建築学科教授)
- ・「歴史的町並みを現代に生かす試み」
荒牧 澄多(NPO法人川越蔵の会)
- ・「地域とアート・ものづくり」
小野寺 優元(彫刻家)
- ・「アートプロジェクトの今」
松永 康(アートコーディネーター)
+ 源愛日(建築家) + 荒牧澄多 + 青山恭之(コーディネーター)



第二部 川越アート散歩 「蔵造りコース/近代建築コースを散策」

— 第二部では、同時開催の「ウエルカム小品展」、「埼玉の建築スケッチ原画展」、鍛鉄の恐竜親子の展示も含め、小雨に煙る蔵の街はより風情があり、武蔵野の原風景を体感していただくことができましたようです。

「アート&デザイン」を開催して

今年の「アート&デザイン」は、埼玉支部で担当をさせていただきました。昨年5月支部に打診があり、その後開催を決定し、地域の独自性や交通のアクセス等も考慮して、川越を舞台といたしました。

支部では、以前から「埼玉からアートを考える」をテーマとして支部展で記念フォーラムを開催して参りました。今回はそれを拡大しての展開となりました。その中で川越「蔵の会」の街並み保存の活動や街歩きも、川越の地域文化を知っていただくよい機会になったかと思えます。

地域への広報活動は支部としては出来るだけのことはしました。埼玉支部らしい、心地よいイベントになったと思っています。途中紆余曲折はありましたが、皆さん協力して当日の開催に至り、参加者に楽しんでいただけたのが何よりでした。

埼玉支部長 上島あい子(76短デ工)

「アート&デザイン」に参加して

今回の「アート&デザイン」は、川越スカラ座という埼玉県最古のレトロな映画館で開催されました。講演、シンポジウムの中では、特に小野寺優元先生のお話に今後の活動の貴重なヒントをいただきました。アート散歩で散策した川越の街並は学生時代に行っていなかったことを後悔するほど素晴らしい所でした。

宮崎支部長 島崎清史(95院美油)

懇親パーティー

会場:東武ホテル

一埼玉支部会員をはじめ多くの方の参加があり、超満員の大盛況でした。会場は大きな七夕飾りのインスタレーションが華やかさを添え、全国支部からの代表者も、それぞれ再会して、年代、専攻に関係なくムサビの仲間としての輪が広がっていました。



開催予告:「アート&デザイン2016愛知」
2016年7月2日(土)名古屋能楽堂にて開催(予定)

永井 聡

ながい あきら

ムサビの仲間・絆

29

見たことがあるものをつくらない。
そして、人を感動させることができると
信じてつくっている。

聞き手：KIKI

写真+表紙写真：平野太呂



— 鷹の台キャンパスは、久しぶりで
すか。

ムサビのことは大好きでしたが、卒業すると来る機会もなく過ぎてしまいました。大学を出て21年、はじめて来ました。懐かしいですが、新しい校舎も建って随分と様子が違う気がしています。ちょうどバブルがはじけた頃だからというわけではないですが、合コンとか外に飲みに行くこともあまりなく、実家も近かったこともあって、とにかく夜までずっと大学にいました。

— なぜ、ムサビでしたか。

元々映画は好きでしたし、絵を描くのも好きで、クラスではうまい方でした。大学行くなら好きなことをやりたいと美大を受験することにしました。傍から見たら、ムサビの映像学科を出て、CM監督になって、映画もつくって、トントン拍子で来ているように思われますが、自分ではこの縁をととても不思議に思っています。

— 映像学科にと、決めていたので
すか。

漠然とデパートのディスプレイとか舞台美術とかいいなというのがあって、空間演出デザイン学科に入



©映画「ジャッジ！」製作委員会



卒業制作作品台本

りたいたと思っていました。複数受験の結果として、映像学科の1期生として入学することができました。入学した1996年頃、既にソニーのHi8やSVHS-Cといったハンディータイプのビデオカメラが登場していて、誰でも簡単に録画ができるようになって来た頃で、アナログからデジタルに移行していく時代は面白かったです。

—今CMディレクターとして実際に映像の仕事をしていらっしゃるんですが、この仕事につくきっかけはなんでしょうか。

学生時代は友人(前回ゲストの河津氏)と8ミリフィルムで映画を撮っていました。卒業制作では、50分位の映画を撮り、撮影の基本は理解できるようになっていましたが、映画監督になろうとは思わなかったですね。なり方もわからないし、何年も修業するような厳しいイメージがありました。パブルがはじけた後でしたから、受かりさえすればどこでもとの思いで、普通に就職活動をし、葵プロモーション(当時)に入社することができました。そして、翌年にはCMディレクター(監督)として、23歳の若さでデビューもさせてもらいました。

—仕事としてCMをつくりはじめ

て、学生時代につくっていた映画と一番の違いはなんでしたか。

学生時代は好きなものを好きなように撮ることができましたが、仕事では、まず、メッセージを決めて、それを的確にイメージで伝えるということが大切です。一般人にわかり易いものにしなければならぬということですね。そして、プロとしていい映像を撮ることを求められます。

—ご自身のCMで一番のお気に入りがありますか。また、好きなCMディレクターはいましたか。

どれも好きですが、気分が一番は変わります。小学生の頃にテレビで見て感動したのは、高杉治朗(たかすぎじろう)さんという著名なCMディレクターが作られたサントリーウイスキーのCM(注1)です。今見ても素晴らしいと思います。印象が強いのはずっと人の心に残るものだと確信したCMですね。だからこそ、15秒という短時間で本来は商業目的のCM映像でも、人を感動させることができるかと信じてつくっています。

—15秒という短時間での確に伝える映像というのは難しいですね。CMディレクターとして嬉し

いことは。

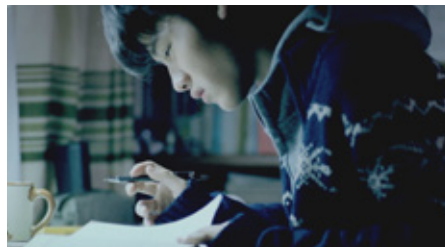
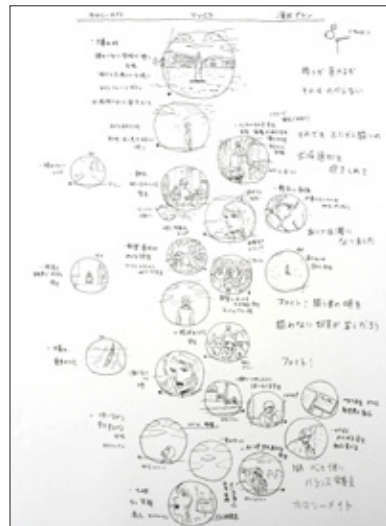
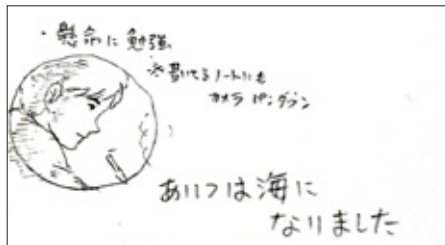
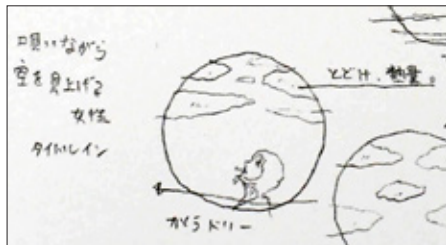
できるようになったのは、35歳を過ぎてからです。CMは強制的に流れるもので誰でも気軽に見られるハードルの低さがいいのかもしれないです。街中で自分がつくったCMのCMソングを口ずさむ子どもに出くわしたときなんかは、妻く嬉しくなりますね。子どもも大人もすぐ真似できるというのは、やはりやりがいもあるし、面白いです。

—短いCMの中にも、映画のようなストーリー性や抑揚を感じることがあります。既に映画監督としてデビューされていますが、映画を撮りたいと思うようになったのは。

中島哲也さんや石井克人さんなどCM監督から映画デビューする方を見ていて、自分もいつか頑張っただけで映画をつくりたいと思うようになりました。それで、CMの演出時にもたとえ使う部分が1秒だとしても、何分か長回しをしてストーリーをつくる演出もするようになりました。

—映画「ジャッジ！」(注2)は、広告業界が舞台ですが、実際にあった話ですか。

脚本家は、一応フィクション50%



大塚製菓カロリーメイト「とどけ、熱量。」CM

大塚製菓カロリーメイト「とどけ、熱量。」絵コンテ

「映画を撮りたいという思いがCMづくりに影響したということですが、それぞれに魅力があるようですね。」

「映画界からするとCM監督の新しい視点が新鮮だと思えます。僕個人はCMに映画のいいところを持ち帰って活かすことが、CM界への恩返しだと思っています。たとえ映画だけで食べていけるようになったとしてもCMは辞めたくないですね。CMは日々撮るテーマが変わりますし、スピード感がまったく違うところが面白いし、ハリウッドで開発された新しい技術も直ぐに入ってきて、どんどん挑戦もでき、資金もかけられて、勉強にもなります。撮り方にしてもCMは用意周到にされていて、ビジネスライクに過ぎていきます。映画はというと、1本を3年位かけて撮り、資金の問題があっても時間をかけてみんな考えてつくっていくので、まったく違います。演者さんとコミュニケーションを取っていくことをCMでも

意識してやっていきたいですね。」

「ご自身が撮りたいと思っっているもの、理想とするものはありますか。」

「学生時代に撮っていた基本のショートムービーを撮ってみたいですね。」

「作品をつくる時大切にしていることや気をつけていることは何ですか。」

「CMでいうと、『見たことがあるものをつくらない』ということですね。最初に企画を渡されたときかと悩むものの方が、最終的には良いものができることが多いですね。演出家はその答えを出すのが役目なわけで、今まで見たことのないものをつくり出すために徹底的に話し合っ、決めていくことが好きです。」

「CMはクライアントさんにまずOKをもらうことが前提ですが、新しいものを受け入れてもらうのは大変ですね。」

「特にCM業界では、わからないものにお金を出せないというのが正論ですが、それを、いろんなプレゼン手法で、広告代理店の方たちが手を替え品を替えて説得してくれるわけですね。」

「永井さんだからという信頼関係で成り立つこともあるわけですね。」

「そうですね。それは今まで作ってきた経験から、一定のクオリティには仕上げてくれるという安心感や保障のようなものだと思います。あと、僕をコンテを結構細かく描くので、それを見てももらうことでクライアントさんも納得してくれることが多いです。」

「マルの絵コンテをはじめて見ましたが、四角ではなくマルにされた理由は。」

「以前は四角にしていたのですが、ついしっかりと描き過ぎてしまっ、四角だとカメラアングルをきりたくなくなってしまう。すると、カメラマンはそこからイメージが離れなくなってしまうことがよくありました。それで、マルにしてみたら、状況だけなのでゆるく伝わって、のりしろを残すことで、みんないろんなことを考えるんです。キャンペーンの文字もわざと小さくして、読み難くすると、逆に真剣に読んでくれます。(笑)」

「新しいものをつくるときのアイデアの根源はどこからくるのですか。」

永井聡

1970年東京都生まれ。1994年武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業、同年、葵プロモーション(現、AOI Pro.)入社。CMディレクターとして数々の話題作を手がけ、2012年52nd、2013年53rd ACC CM FESTIVALクラフト部門ディレクター賞を2年連続受賞。主なCM演出作品は、ダイハツ工業「日本のどこかで」、大塚製薬カラーメイト「とどげ、熱量。」、サントリーBOSS「ゼロの頂点」などがあり、映画は2005年「いぬのえいが」で短編監督をし、「ジャッジ!」で長編監督デビュー。現在は、AOI Pro.チーフクリエイティブオフィサー

□ CM/ライブドア「ギガメーラー」篇(2004年)/日本コカ・コーラ ファンタ「だったらいいのにな」シリーズ(2005年)/リクルート TownWork「仕事発見&初出勤」篇(2005年)/全日本空輸「ひまわり」篇(2006年)/vodafone(現ソフトバンクモバイル) AQUOS ケータイ「予想外のいい動き」篇(2006年)/富士急ハイランド ええじゃないか「ちゃぶ台返し」篇(2006年)/セコム ホームセキュリティ「BIG TRAP」篇(2007年)/サントリー DAKARA「温泉&英会話」篇(2008年 出演 天海祐希)/大塚製薬 ネイチャーメイド「未来への投資」(2008年)/資生堂 シーブリーズ「アセの教え」篇(2008年 出演 堀北真希)/日清食品 カップヌードル SURVIVE!「グローバリゼーション」「初めての合コン」(2014年)

□ 映画 / 「いぬのえいが」(2005年) / 「ジャッジ!」(2014年) / 「世界から猫が消えたなら」(2016年公開予定)



原作：川村元気 監督：永井聡 脚本：岡田恵和

音楽：小林武史 出演：佐藤健、宮崎あおい

公式URL：<http://www.sekaneko.com>

© 2016 映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

普段の生活の中の何気ない風景や出会いやいろんな人との会話からですね。だから、ちょっと疲れて面倒な日も、呼ばれたら行くようにして、そんな中からいろんなアイデアが生まれてきます。映画とか本とかも観客として楽しんで、感動したら、「自分もこれだけ人を感動させたい」と思います。僕は人に言葉で伝えるのが下手で、絵コンテが一番メッセージを伝えられるということがわかりました。海外での撮影では、ストーリーボードを描く専門家がいたので、監督自らがコンテを描くという事はあり得ません。そこで自ら描くと、「なぜ描くのか」と聞かれるのでそのときは、「この作品が好きだから自ら描くんだ」と言うと、感動してもらって周りのみんなも一生懸命やってくれます。(笑)

—ムサ美の学生や映像を目指す学生へのアドバイスをお願いします。

ムサビは、答えのないとてもいい学校だと思います。だからこそ一生懸命になれ、友人と答えを見つめる面白さがありました。いろんな見方をする人が集まる場所で、見たことのないものを創り出すには、もってこいの環境でした。この歳になってくると、若いクリエイターがつくるものが一番怖くて、一番好きです。

だから、失敗しながらでも無駄だと思えることでも、好きなことをやってください。最終的にそれが何に活きるかは自分の努力次第ですが、やってみてください。僕自身も映画のことなんて何も知らなかったのが、友だちの自主映画を手伝っていろいろうちに面白くなり、今、映画監督ですからね。

—今後やりたいことはありますか。

卒業制作以来になりますが、河津君とお互いプロの世界にいるわけで、CMでは大ベテランの域ですが、映画監督としてはまだまだ若手なのでスキルを身につけて、やれる時期が来たら僕が監督で彼がカメラを回して撮りたいですね。

—今回のゲストを紹介ください。

2003年に油絵学科を卒業した笠井亜紀さんです。映画やCMの美術デザイナーをされていて、僕も何度か一緒にお仕事したことがあります。

—今日はありがとうございました。

注1) アルチュール・ランボー篇。砂漠の真ん中で、火を吹く半裸の大男、天使の衣裳をまとった幼女、ジャグラー、軽業師にナイフ投げの男らがマーク・ゴールデンバーグのQUEEN OF SWORDSという曲をバックに芸を見せる。1982

年の名CM、杉山恒太郎氏(プロデュース)、高杉治朗氏(ディレクション)、長沢岳夫氏(コピー)
注2) 映画「ジャッジ!」監督：永井聡、脚本：澤本嘉光、主演：妻夫木聡、北川景子

編集後記

写真撮影のときに、「撮られるのは苦手ですね。これからはあんまり注文をつけないようにします」と、ニコリとされました。CMも映画もつくるのが大好きなことが伝わってきました。学生時代の友人との約束、映画づくりの夢が近々実現しそうですね。有言実行、感動を与えてくれる作品を期待し、ますますのご活躍をお祈りいたします。

また、来年公開の映画「世界から猫が消えたなら」を楽しみにしています。

聞き手：KIKI

東京都出身。2000年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。雑誌をはじめ、広告、TV出演、連載の執筆、近年では自身の写真展『PRISM A』シリーズを発表、また芸術祭に作家・審査員として参加するなど活躍の幅を広げている。

公式ブログ <http://blog.honeyee.com/kiki/>



わたしのつくること、生きること

株式会社 にじたろう 代表

戸塚 太郎 Taro Totsuka

Vol.13



1976年逗子生まれ。1998年武蔵野美術大学映像学科卒業。フリーのCGクリエイターとしてデザイン・アニメ制作の活動後、作家名「にじたろう」としてオリジナルアニメ制作などの活動を開始。初めて発表したショートアニメ作品が経産省のコンペでソニー(株)とフジテレビLLCから企業賞を受賞後、フジテレビCSで1年以上に渡って放送。子ども向けアニメ作品がヨーロッパやアメリカの短編映画祭などで上映された。2014年に株式会社 にじたろうを設立し、子どもの描いた絵をアニメにするワークショップ事業「コードモーション」を開始。様々な施設で実施している。武蔵野美術大学映像学科非常勤講師を10年以上務めている。

コードモーション

「はい、プレゼント！」幼い少女はそう言って私に空っぽの小さな掌を差し出した。きっと彼女はその掌の上に鮮やかなピンク色の花びらを見ていたに違いない。私が企画している子どもの絵をパソコンでアニメ化するワークショップ「コードモーション」の上映会での出来事である。子ども達の描いた桜の花びらを画面いっぱいにならせ、その下で子どもたちの描いた動物が飛んだり跳ねたりしている場面に、女の子が舞い散る花びらに向かって手を伸ばして「つかまえた！」と叫んで私に駆け寄って来たのだった。ワークショップではこのように印象的な出来事に巡り会える。

以前に盲目の少女が参加したこともあった。周りの友達に手伝ってもらいながら絵を描いていたが、これをアニメにしても彼女に何が楽しめるのか？と疑問だった。しかし、上映会の時には誰よりも生き生きとした笑顔を見せ、喜んでくれた。きっと周りの友達が興奮してはしゃぐその場の雰囲気や全身を感じ取り、自分の絵が動く様子を、想像力を通して眺め楽しんでくれたに違いない。とても感動し、子どもは単にアニメを楽しんでいるの

ではなく、みんなで一緒に楽しむことで生まれる特別な空間を体感しているのだと感じた。

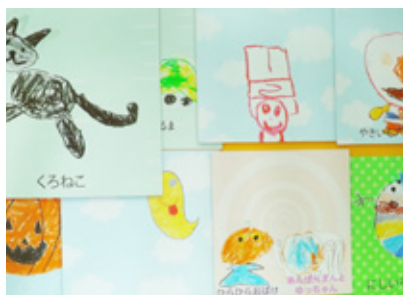
以前、テレビの子どもの番組で子どもの絵をアニメにするコーナーを担当していた時に、それを見た子どもの反応を直接知ることができなかったのが心残りだ。バンドのライブのように映像のライブで、子ども達をその場で楽しませたいと思ってワークショップを始めた。その時、その場でしか生まれ得ない興奮を子どもと共有できることはとても幸せだ。「子どものために」なんて言ってるけど、本当は自分が楽しみたいだけかもしれない。でも自分が楽しんでやっていると、その気持ちが子どもにも伝わるのだと思っている。何をすれば一番自分が楽しめるか、その気持ちに素直にしたがってれば人生間違いはない、そう信じている。

※ 校友会推薦スタディーツアー2016

「ヨーロッパの美術・建築・デザインを訪ねる旅」
(本紙裏表紙掲載) 同行講師



コードモーション上映の様子
(コードモーション in イオンモールむさし村山)



コードモーションワークショップ 子どもたちの絵



「ほしぐま」アニメーション

取材記

戸塚太郎さんは静かな方であった。静かに照れながら微笑む瞳の中に「少年のやんちゃ」が顔を出す。僕らはいつかから大人になってしまったのだろうか？ 知らぬうちに大人と子どもの間に線を引くようになっていたのだろうか。

アートの何が出来ることなのか？ 手を動かしてものを作るこの意味とは何か？ 戸塚さんの言葉の隅々から溢れる自分自身への問いかけは真っ直ぐで「てらい」がない。

「コードモーション」と自ら呼ぶワークショップを通じて、その答えを手探りで模索しているようだ。

子どもの描いた絵が戸塚さんたちとのやり取りを通じて映像作品となり、そして、みんなでその作品を見る。戸塚さんはみんなで見てその空間を共有することが大切で、そこまでが作品だという。「それは、映画館で一緒に映画を見る体験に似ていますね」と尋ねると、「そうですね」と戸塚さん。

ものを作る体験は大人も子どももない世界。大人と子どもが繋がる世界。戸塚さんの思い描いている世界は素敵である。それはアートの大きな可能性であると戸塚さんたちの活動に感じた。

— 広報部長 古川泰司(85学建)

海外からこんにちは



武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科インダストリアルコースを2007年に卒業後、Nike Japan に入社。Nike Japan Tokyo Design Studio に在籍しフットウェアデザインのキャリアをスタート。現在はアメリカ合衆国オレゴン州ビーバートンにあるNike, inc. World headquarter (WHQ)にて、フットウェアデザイナーとして2014年から現職。Nike Skateboarding (NIKE SB) に在籍し、フットウェアのデザインを手がけている。

フットウェアデザイナー (NIKE, inc.)

臼井 大貴

Hiroataka Usui



Get out your comfortable zone

車の運転が好きだ。ハンドルを握り、前後方の視界を確認し、サイドブレーキを下ろす。ゆっくりとアクセルを踏みこみながら、その日の天気や風に応じて音楽を選んだりして、流れに乗り目的地へ向かう。圧倒的に運転席が好きだ。

いったい自分はいつからこんなに車の運転が好きになったのだろうと考えると、日本を離れ初めてアメリカにやってきた9年前の日のことを思い出す。

Nike Japanへ運良くフットウェアデザイナーとして入社し、研修という形でここアメリカへ2007年夏にやってきた。その時に生まれて初めての海外生活を半年間、その後日米を行き来する生活を約8年間繰り返し返すこととなった。現在は東京の家を引き払いここオレゴン州ポートランドを生活の拠点としている。自分がアメリカに住むことになるのは、人生はかくも面白く、予想通りにならないものだと感じている。

僕が勤めているNike, inc. は、アメリカの企業ではあるが、グローバルに展開をしている企業

風土から世界各国から沢山の人がここオレゴン州ビーバートンへ集まり、それぞれの特性を生かして働いている。僕の場合はスポーツシューズデザインを足がかりに、それぞれの国や文化圏で培われた感覚や経験を共に働 きながらシェアし、新しい時代へと繋げていく喜びを感じながら、日々奮闘している。

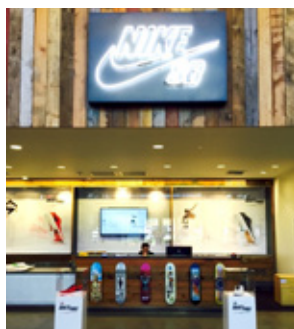
仕事を通して自分が今まで出会ったことのない人やカルチャーに巡り合うと、僕はたまになく嬉しくなる。自分とは育った環境や国、母国語が違う人間たちと対峙しながら仕事の議論をかわしている、運命とまでは言わないまでも、なにか不思議な縁を感じずにはいられない。ここポートランドに暮らしながら、肅々と仕事をし、沢山の本を読み、旅をし、様々な人と出会い、多くの経験を丁寧に自分の中に保管しながら、日々自分の中に人間としての「知」を育んでいきたいと思っている。

英語のことわざで、Get out your comfortable zone という言葉がある。自分が心地よいと思う場所から出る、そこには自分の成長はないという意味である。僕はこの言葉が好きだ。自分の

心地よい場所で安堵せず、常に新しい出会いを求めて前へ進む。恐れや傷つくこと、リスクを考え過ぎて身動きが取れなくなるのではなく、恐れを超えて常に新鮮な気持ちで新しい何かへ向かい続けることで、自分を成長させていけるのだからと思う。初めてポートランド空港に一人で降り立った時の大きな不安と小さな期待が織り交ざったあの独特な気持ちは、まさしく恐れを超えて自分を成長に向かわせてくれたと、今になって思う。あの時レンタカーの車内から見た雨景色は、ここポートランドへ定住の地を移した今でも折に触れて思い出す。

自分の今までの経験に酔うことなく、これからも自分の人生の運転席に座りハンドルを握りながら、恐れず新しいことへの挑戦をずっと楽しんでいきたいと思う。気に入った音楽を聴きながら、気持ちのよい景色を求めて車を走らせているような気持ちで生きていきたい。

※2014年よりムサビ・アラムナイ・グローバルサポーターとしても活躍中



NIKE SB Entrance



NIKE SB Entrance



NIKE SB Entrance wall



Skate wall



校友発掘キャラバン

取材日記 No.3

椅子デザイナー

(株)いのうえアソシエーツ代表取締役
「井上昇の椅子塾」主宰、塾長

井上 昇 (いのうえ のぼる / 67 学産工)



アイデアから生まれる椅子のデザインと人間工学から生まれる椅子のデザインを融合させ、常に身近にあることを考えられている井上昇さん。現役の椅子デザイナー、ビジネスマンとして50年近く活躍されている。

11年間企業に勤め、35才のとき、脱サラしてアメリカ家族留学を決意。チャールズ&レイ・イームズが在籍したデトロイト郊外の少人数制のクラムブルック美術大学院大学、デザイン科に入学、必死に学んだそのときの経験や人との出会いが自分にとって大きいと語る。

現役で活躍するデザイナーが教鞭をとり、教育する環境が自分を変えるきっかけになったという。

流動的な世の中に身を置き続けている井上さんだからこそ、本来のデザインとは何かを問い続け、後世にノウハウを伝える「椅子塾」という教育的活動もおこなっている。そこはクリエイターの「独立と自由」を目的とした学校である。

「椅子というのはプロダクトデザインの中で一番難しい。単純だが面白く、他のことはやりたくなくなる。とても楽しい一生の仕事だ。自分のデザインした椅子が人の役に立てることが喜びだ」と井上さんは言う。

座り心地がよく彫刻的に美しい椅子は、空間自体に緊張感をつくり、より上質な空間になる手助けをする。そんな椅子を作り続けたいという。

現在は高齢者向けの椅子、健康のための椅子づくりをおこなっている。健康に不安を抱えている人向けの椅子を自分で製造、販売もしている。

タイムレスはロングライフ。井上さんの挑戦はずっと続く。

取材：広報部 太田 (09 通デコミ)

推薦者：鈴木敏雄 (67 学産商)



椅子作品「Awaza」



著書「椅子 The Book of Chair」

取材日記 No.4

友禅作家

女子美術大学非常勤講師

須藤 真美子 (すどう まみこ / 00 学日)



一問一答

1. 友禅作家になるきっかけ

大学卒業後、友禅の工房に弟子入りし、働き始めたのがきっかけです。大学3年の後半から進路のことを考え始め、就職先を探していた時に武蔵美の求人ファイルから見つけました。

2. 友禅の一番の魅力、うれしかったこと

1枚の薄い布の中に絵画のような奥行や深みが表現出来るのが友禅の魅力です。制作工程が長いことが特徴ですが、一つ一つの工程をきれいに仕上げることが目標でもあり、それが出来た時は達成感を覚えます。友人が結婚式の時に、制作した着物を着てくれた時はとても嬉しかったです。

3. 制作で大変なところ

ほとんどの工程が手作業なので、その人が持っている技術的なレベルの高い、低いが目に見えて現れます。継続して、常に手を動かし訓練する気持ちを持たないと技術的な面では落ちてしまうのでそういった面は大変にも感じます。

4. 制作で心がけていること

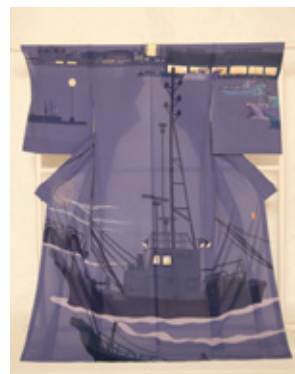
友禅の場合、途中で色の変更やデザインを変えることは大変難しいので、一発勝負のようなところがあります。最初の計画がとても大事なのですが、計画しつくされたものづくりには時に息苦しさも感じます。そういった時は他の分野の作品、絵画や音楽といったものを見たり聞いたりして感覚をニュートラルにし、凝り固まった思考を解すようにしています。

5. 今後の予定、やりたいこと

北陸新幹線開業に合わせ、金沢市内に金沢の工芸をコンセプトにしたホテルがオープンしました。そのロビーの空間を演出するために四季をテーマにした着物を季節ごとに制作する仕事を行っています。今後は金沢でいい形で個展が出来るように計画して行きたいです。

取材：広報部

推薦者：大高亨 (87 学工)



友禅訪問着「帰港」



友禅訪問着「想い草」

北から南から



山形支部

在住者数100の名

山形支部は「芋煮会」!



さる9月26日朝までの雨も上がり、昼頃には日差しも出て格好の芋煮会日和の中、「山形支部芋煮会」が開催されました。

恒例の「芋煮会」は、山形市馬見ヶ崎河川敷で朝から場所取りをするところから始まります。取った所にムサビと書いたシートを置いて目印にします。竈、鍋、材料は今では人数分をスーパリーに注文。それをセットして火をおこし、こんにゃく、牛蒡、里いもを入れ煮えてきたら牛肉、きのこを入れ、砂糖、塩、酒、醤油で味付けをして最後にネギを入れて完成です。

煮えるまでの間に食べる場所を準備、枝豆、茄子づけ、葡萄、おにぎり、お酒色々。いろんな話に花が咲きます。支部再編から20年になりますから20回目ということになります。5月に「総会兼食事会」、9月に「芋煮会」と年2

回、少しの変化はあるものあまり変わらぬメンバーで続けてきましたが、高齢になったこと、若い人の参加が無いこと、支部長のなり手が無いことなどで休会にしようという話に一旦なりました。今回「芋煮会」に、本部から永井副会長の参加もあり、「気楽にいこうか」ということで、斎藤裕志さんが支部長を引き受けてくださることになり、今まで通り続けることになりました。これも野外での「芋煮会」とお酒の効果かなと思いつつ無事お開きとなり、皆で後片付けをして来年の再会を楽しみに解散しました。

山形支部事務局長 長谷川美紀(68学書日)



右端 永井副会長、右から5番目 長谷川さん

長野支部

在住者数701名

小さなアート展



ここ2年ほど長野県支部の総会出席者は数名! 何とか800名の校友が一人でも多く参加してほしい

と、「小さなアート展」を企画してみました。応募者は23名でしたが北信(長野)、東信(軽井沢)、中信(安曇野)、

南信(飯田)と県全体から50点あまりの出品がありました。2週間のロング開催中には家族や親族で来館され、思わぬ出合いもあったようです。「小さな作品展ということでは病氣療養後初めて勇気を出して描いてみた」とか「作品に価格を付けたことがないのでどうしたらよいか」とか、通常総会とは違って、展覧会ならではの交流も生まれました。来年度も開催を計画しています。資金や人的負担にもよりますが県下各地で開催出来れば面白いでしょう。どうぞ奮っての参加を希望しています。

また、本年度も彫刻学科の黒川弘毅教授他研究室の皆さんにはブロン

ズクリーニングで大変お世話になりました。まずは清水多嘉示先生の母校、創立100周年を記念した諏訪清陵高校のブロンズ像「黎明」と諏訪湖畔の彫刻を地域の高校美術部員の皆さんと実施。さらに諏訪大社下社の狛犬も5年ぶりにクリーニングするとともに、保存状況の調査を依頼できました。



諏訪大社下社で狛犬のクリーニング

長野支部長 下山力(67学産商)

支部活動報告 2015年4月→2015年9月

- 千葉** ・第40回武蔵美千葉支部展
4月21日～4月26日 千葉県立美術館 第4室
出品者51名/作品76点/
来場者889名/新人賞3名
- 山口** ・山口ムサビ展 5月2日～5月6日
クリエイティブ・スペース赤れんが
出品者7名/作品33点/来場者177名
- 高知** ・第12回MOB展
～THE ART EXHIBITION2015～
5月17日～5月24日 FAUSTギャラリー
出品者19名/作品27点/来場者250名/後援
- 茨城** ・武蔵野美術大学校友会
第13回茨城南支部展 5月19日～5月24日
茨城県つくば美術館 第2展示室
出品者24名/作品84点/
来場者1,091名/新人賞2名
- 栃木** ・第8回ムサ美支部展 5月22日～5月26日
栃木県総合文化センター第一ギャラリー
出品者17名/作品53点/
来場者400名/新人賞2名
- 熊本** ・第40回記念武蔵野美術大学校友会
熊本支部展 6月30日～7月5日
熊本県立美術館 分館
出品者35名/作品128点/
来場者1,248名/後援
- 埼玉** ・ムサ美埼玉「ウェルカム」展
7月2日～7月5日 ギャラリーR+
出品者27名/作品29点/
来場者320名/後援
・埼玉の建築スケッチ原画展 青山恭之
7月3日～7月6日 服部民俗資料館
出品者1名/作品24点/
来場者140名/後援
- 岐阜** ・武蔵野美術大学校友会岐阜支部
第6回武蔵美OB展2015
7月22日～7月26日
岐阜県美術館 県民ギャラリー展示室4
出品者36名/作品80点/来場者784名/
新人賞1名/後援
- 長野** ・NAGANO武蔵美卒業生による小さなアート展
8月8日～8月17日 ライフプラザ マリオ
出品者20名/作品47点/来場者約120名
- 三重** ・武蔵野美術大学校友会
三重支部展「び・SAM展」
8月19日～8月23日
三重県立美術館 県民ギャラリー
出品者19名/作品57点/来場者475名
- アメリカ** ・Musabi ten むさび展2015
9月2日～9月17日 Gallery MC
出品者30名/作品30点/来場者200名/
新人賞1名/後援
- 千葉** ・第26回武蔵美千葉支部小品展
9月15日～9月20日 船橋市民ギャラリー
出品者35名/作品67点/来場者653名
- 滋賀** ・第14回武蔵野美術大学校友会滋賀支部展
9月19日～9月22日
栗東芸術文化会館さくら
出品者8名/作品32点/
来場者124名/新人賞1名
- 新潟** ・スケッチ旅行
9月19日(土)～9月20日(日) 佐渡
参加者6名
- 大阪** ・「柿渋一閑張り」の講習会
8月11日(火)、8月18日(火)
Gallery KIT HOUSE 参加者20名
・MSB武蔵野美術大学校友会大阪支部展
9月22日～9月27日
海岸通ギャラリー-CASO
出品者43名/作品49点/
来場者348名/新人賞3名
- 宮崎** ・武蔵野美術大学校友会
宮崎支部第41回宮崎ムサビ展
9月22日～9月27日 Art Space 色空
出品者19名/作品30点/来場者200名
- 奈良** ・武蔵野美術大学OB会奈良支部展
9月29日～10月4日 奈良県文化会館 展示室
出品者19名/作品44点/来場者529名



高知支部展 (おびさんマルシェ)



栃木支部展



熊本支部展



埼玉の建築スケッチ原画展 (青山恭之)



岐阜支部展



三重支部展



アメリカ支部展



新潟支部 スケッチ旅行



大阪支部 柿渋講習会



空セミナーを開催しました。
「芸空の会」の会員は、セノグラフィ (舞台美術、舞台衣装)、空間デザイン

2015年10月24日の芸術祭期間中に校友会「サロン風月」会場で、昨年再始動した「芸空の会」による第1回芸

芸空の会 会員数9,347名
第1回芸空セミナー

(環境デザイン、インテリアデザイン)、ファッションデザインのみならず様々な分野で多くの仲間が活躍しています。これら幅広い分野に展開する同窓生の親睦、世代を超えた交流から思いがけない創造的な出来事が生まれるかも知れません。
同窓生の親睦と交流の試みとしてセミナーを開催し、世代を超えた親睦交流、絆を深めることを目的としています。
今回が初開催となる芸空セミナーは、芸能デザイン卒業生であり、名誉教授である川口直次先生とそのゼミ卒業生によるパネルディスカッションを企画しました。

第一部は、川口先生による「出会い」をテーマとした講演。サブライズゲストとして川口先生舞台美術の「横浜ローザ」をはじめ親交のある女優の五大路子さんも登場いただきました。
第二部では、川口ゼミ卒業生(山口智広さん、林俊美さん、小谷知輝さん、丸山貴明さん、進行役福田寿寛事務局員)によるパネルディスカッションを開催。卒業後各分野で活躍されている現在のお仕事紹介や加子母歌舞伎・ドラマ制作実習などゼミ活動での思い出話で盛り上がりました。芸空セミナー後のホームカミングパーティーでは、他支部の卒業生の方々と親睦も図れ、大変充実したセミナーとなりました。



芸空セミナー 川口先生を囲んで

支部長・事務局長交代

福岡 支部長：原 泰樹から 新支部長：内田るり(80学油)へ交代
宮城 事務局長：浅川和彦から 新事務局長：堤内一美(79別油)へ交代

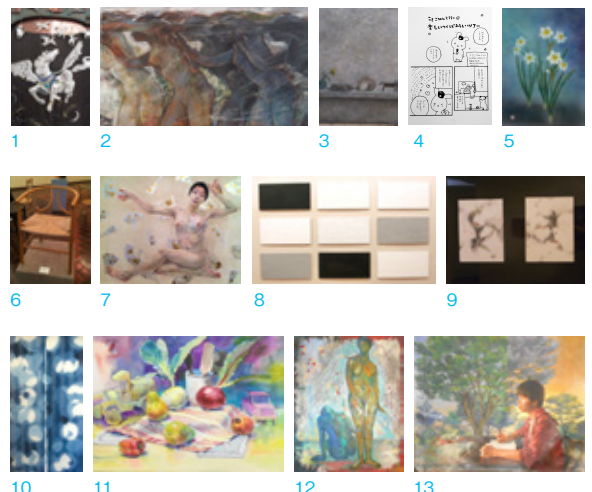
山形 支部長：武井呉郎から 新支部長：斎藤裕志(72学産芸)へ交代

支部カレンダー 2016年1月→2016年6月

支 部	催 事	日 程	場 所	お問い合わせ先
宮 城	宮城支部総会	4月(予定)	仙台市生涯学習支援センター	022-295-0403
茨 城	第10回着衣モデルクロッキー会	3月27日(日)	つくばみらい市板橋コミュニティセンター	0297-58-9797
	第14回茨城南支部展	6月7日(火)～6月12日(日)	茨城県つくば美術館 第1展示室	029-856-3711
千 葉	平成28年度千葉支部総会・新年会	1月24日(日)	船橋市勤労市民センター(新年会は会場未定)	047-425-2551
	第41回千葉支部展	4月または5月(予定)	千葉県立美術館	043-242-8311
	武サ美デッサン会 [入会金:1,000円/参加費:1,000円]	2月を除く毎月1回(1/16、3/12) 13:30～17:00	千葉市美術館 9階講座室	047-354-0996 (担当:正藤)
神奈川	M展2016(武蔵野美術大学出身作家による)	1月28日(木)～2月2日(火)	ギャラリーびお	045-681-5122
新 潟	裸婦デッサン会(求美会) [参加費:半日2,000円、終日3,000円]	毎月1回第4日曜日(1/24、2/28、3/27、 4/24、5/22、6/26) 9:30～16:30	新潟駅南コミュニティセンター(美術工作室)	025-246-6647 (担当:高橋)
福 井	むさび校友会 第23回福井県支部展	5月または6月(6日間の予定)	福井県立美術館 展示室	0776-25-0452
	支部研修会	未定	未定	
静 岡	美術館、アートフェア等の見学会	未定	未定	
愛 知	新年会&第2木曜会	1月14日(木)	NAGOYA葵倶楽部(愛知支部事務局)	052-934-7035
	第2木曜会ミーティング	毎月第2木曜日	NAGOYA葵倶楽部(愛知支部事務局)	052-934-7035
大 阪	MSB武蔵野美術大学校友会大阪支部展小品展	3月22日(火)～3月27日(日)	リーガロイヤルギャラリー	06-6448-1121
	大阪支部総会、デッサン会	5月15日(日)	大阪府立江之子島文化芸術創造センター	06-6441-8050
奈 良	総会、懇親会	4月(予定)	未定	
	写生会	5月(予定)	未定	
和歌山	校友会和歌山支部展2016	1月21日(木)～1月25日(月)	和歌山県民文化会館 中展示室	073-436-1331
島 根	親睦会(日本で唯一現存する「たたら場」見学)	未定	未定	
岡 山	吹きガラス体験会	2月21日(日)	ガラススタジオ透明館	086-273-8515
長 崎	ムサビ校友会長崎支部展	2月25日(木)～2月29日(月)	昭和堂ギャラリー好風	095-821-1240
芸文会	芸文ホームカミングデイ	未定	武蔵野美術大学	

支部展「新人賞」(2015年4月→9月)

- 千葉 1. 白石幸江(74短美油): ミクストメディア「真夜中のメリーゴーランド」
2. 徳田則子(11通油絵): 油彩「風」
3. 山根敬子(69短専美): 油彩「黄色い花」
- 茨城 4. 稲葉千恵(12学油油): 漫画「茨城城南についてゆるゆると紹介する話」
5. 平野みさ代(09通油絵): 水彩「春の訪れ」
- 栃木 6. 堀江洋司(86短専工): 木工「Round Chair」
7. 平石晶子(学日4年生): 日本画「裸婦」
- 岐阜 8. 山川真実(10学油油): ミクストメディア「心模様」
- アメリカ 9. 金丸麗子(86学油): 水彩、パステル「no title」
- 滋賀 10. 長田絹枝(87通美油): 藍染「2015平和を願って」(他2点)
- 大阪 11. 小林千重子(85短デ工陶): 水彩「静物」
12. 高橋知也(13通油絵): 油彩「女のかたち」
13. 前田福茂(95通美): 油彩「このころ…」



新常任幹事紹介



梶岡亨 (85学油)



庄田千華 (14学日)



町田結香 (14学油油)



木村文香 (14学デ情)



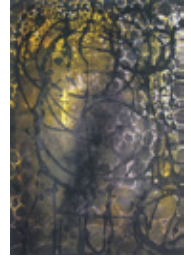
井上広一 (14通工スベ)



中島晋 (14通デシス)

校友作品紹介支援 (アートワークベトナム) 第2号!

昨年に続き今年度も、公共および企業への校友作品紹介として、1件作品の紹介が成立しました。校友会事務局長の知人より、ベトナムハノイにある日本人経営レストランに、「アート・ワーク」として絵を入れたいとの要望がありました。そこで、今年度卒業制作展、数年間の卒業制作作品集等より、候補作品を選抜し、その中から依頼者が作品を決定されました。



鈴木めぐみ (10通油版)
作品:木版画
「かたちなきものI、III、IV」
(写真は「かたちなきものI」)

新インタビューの紹介



モデル
KIKIさん

東京都出身。2000年、武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。雑誌をはじめ、広告、TV出演、連載の執筆、近年では自身の写真展「PRISMA」シリーズを発表、また芸術祭に作家・審査員として参加するなど活躍の幅を広げている。NTV「ゆっくり私時間～my weekend house」レギュラー出演中。著書にフォトエッセイ「美しい山を旅して」(平凡社)など多数。

公式ブログ
<http://blog.honeyee.com/kiki/>

抱負

この度はインタビューとしてご指名をいただき、たいへん光栄でうれしく思っています。以前に私自身がこの会報誌のおなじ企画で取材を受けてから、ほぼ10年の歳月が流れています。次の出演者を友人知人のなかから紹介するという「ムサビの輪」が、こうして続いていることは興味深く、素晴らしいことです。様々な分野で活躍する方たちに、おなじ武蔵美生として、またおなじ表現する立場から、幅広くお話を聞いていけたらと思います。



アナウンサー
増山さやかさん

1989年、武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業。1989年4月(株)ニッポン放送にアナウンサーとして入社。「小泉総理ラジオで語る」「小倉智明ラジオサーキット」「ようこそ長嶋茂雄です」や加藤茶、吉幾三、所ジョージ、他の番組アシスタント、パーソナリティーなどを担当。現在は「高嶋秀武のあさラジ」平日朝6時～8時(木曜・金曜日)、「辛坊治朗ズームそこまで言うか」土曜日 午後1時～3時などを担当。家族は、夫と中学生の娘、愛犬一匹。

抱負

武蔵美を卒業してかなりの月日が流れました。美術やデザインの現場とは縁遠くなっている私に今回声をかけて頂き、武蔵美時代を懐かしく思いつつお引き受けしましたが、果たしてこの大役を務めることができるのかしら?!と不安に思う気持ちも……。でもそこは、得意の、ま、なんとかなるか!の精神でのりきっていかうと思っています。武蔵美卒業生の皆さんのメッセージをしっかりと届けられるように。

高橋章子さん、城戸真亜子さんには当会報の連載Long Interviewインタビューとして長きにわたり大変お世話になりました。101号より、新インタビューとして、モデルのKIKIさん&ニッポン放送アナウンサー増山さやかさんのお二人にご協力いただくこととなりました。

後援実績 (承認 2015年4月→2015年10月)

- 仲邑会展 (グループ展)
- 第40回記念 武蔵野美術大学校友会熊本支部展「大学紹介コーナー」(熊本支部)
- エクスポルテ EXPORTE art project (磐田市合併 10周年記念冠事業) (グループ展)
- 第2回アメリカ支部展
Musabi ten 2015 併設企画(講演会・懇親パーティー) (アメリカ支部)
- 武蔵美卒業生による十人十色展 (グループ展)
- CBN 色彩講座 / 日本の色彩の潮流 01
「SCIENCE of DESIGN と色彩」(基礎デの会会員)
- 第8回山口長男☆野見山暁治と実専展 (グループ展)
- M展 2016 (武蔵野美術大学出身作家による
—横浜開港アンデパンダン展サインスポット展— (神奈川支部)
- COLOR PARTY 2015: GOLD (基礎デの会)
- 川口直次先生による講演 (サロン風月内企画・芸空の会)
- 日月会シンポジウム日月進歩
「建築とケンチュク～50周年記念出版をめぐって～」(サロン風月内企画・日月会)
- 新規後援対象: 学生参加への支援金
- 第6回武蔵美 OB展 2015 (岐阜支部)
- 実測学校 (日月会会員企画)

逝去された会員の方々 2015年4月から2015年9月連絡のうち掲載承諾分のみ掲載

- | | | | |
|-------------------|------------------|---------------|---------------------------|
| 99 通デプロ 高橋則子 (矢部) | 97 短デ工 長谷川伸江 | 57 校本洋 及川尚 | 65 学美油 河西敬子 |
| 47 帝本洋 中西勝 | 01 院デ建 佐藤学 | 55 校本洋 一町田弘 | |
| 67 短美油 鈴木さゆり | 61 校本彫 嶋野重人 | 96 短デグラ 加藤友貴恵 | みなさまのご冥福を
心よりお祈りいたします。 |
| 67 通デ美芸 今井実 | 65 短美油 熊谷征一郎 | 46 帝本洋 古賀良平 | |
| 75 短専生 松田純子 (小林) | 81 学油 上木みゆき (村上) | 78 通美油 鶴田夏豊里 | |
| 59 校図二一 長沢邦安 | 66 学産商 小川由子 (林) | 57 校図二一 野上公平 | |

※ 敬称略・()内は旧姓
※ 古賀良平氏は1991-2001年まで佐賀支部長として、校友会活動にご尽力いただきました。生前のご厚情に深く感謝申し上げます。

奨学募金 寄付の方々

2015年4月1日
→2015年9月30日

05 中村匠吾	86 横山廣子	06 井田恭子
83 伊達木康子	01 深川多永子	74 内藤恵美子
77 土橋邦俊	06 藤井詔平	90 江口シュウ
07 松田真周未	91 能勢榮	69 萬澤まつ江
65 穴戸征四郎	06 大井洋子	88 今井雅也
94 宇佐美健介	07 和賀咲子	74 森久和
05 松田則子	81 坂本浩	75 鈴木篤
65 久世アキ子	89 斎藤真理子	98 川上紀久子
88 佐藤富美子	00 下堀恵美子	77 井上揺子
91 武野しずえ	60 宮本武	13 伊藤咲穂
59 伊能洋	67 藤田典子	98 木村綾子
86 米倉初子	65 南茂	74 深田須美子
95 星野秀人	65 伊藤洋子	72 新田力
51 乙訓寛文	72 唐澤顕一	匿名希望1名
66 服部敏行	71 柳戸恵以子	
67 佐藤喬	72 森本克幸	※敬称略、送金順 数字は卒業年度
78 本田久美子	81 飯塚孝	
65 佐藤広樹	12 小山めぐみ	沢山のご厚志に 心より御礼を申し上げます。
70 米盛兼一	89 佐藤恒一	

2015年度奨学生決定

造形学部 通学課程4年生 募集定員12名 各100,000円(贈与)

書類審査を経て、面接審査選考後、厳正なる審査のうえ、下記の12名奨学生として決定いたしました。
※出願者数 104名

都築良恵 日本画学科	城所亜門 工芸工業デザイン学科(ID)
戸井李名 油絵学科(油絵専攻)	徳田亮介 工芸工業デザイン学科(ID)
鷹觜絢香 油絵学科(版画専攻)	間瀬玲奈 工芸工業デザイン学科(テキ)
西永和輝 彫刻学科	鎌田拓磨 基礎デザイン学科
高山瑞 彫刻学科	西堀真澄 映像学科
亀元円 彫刻学科	高德宥介 映像学科

造形学部 通信教育課程4年生 募集定員3名 各100,000円(贈与)

研究室より推薦いただいた後に、校友会にて厳正なる審査のうえ、下記の3名を奨学生として決定いたしました。
※出願者数 8名

江口順子 油絵学科 版画コース
柴育子 油絵学科 版画コース
小川彰子 デザイン情報学科 コミュニケーションデザインコース

ホームカミングデー「サロン風月2015」開催報告

サロン風月、3年目の本気。

武蔵野美術大学芸術祭期間中の10月24日(土)25日(日)の2日間、12号館8階にて、校友会主催の「サロン風月」が開催されました。今年は、過去2回のコンテンツに加え、校友会奨学生の優秀作品を展示し、ワークショップを実施。

ふらっと来た校友会の方々の待ち合わせの場所、校友の活動や作品を知り、手遊びしながら、おしゃべりの場になり、セミナーで知的好奇心を刺激し、パーティーで美味しいお酒を飲む。といった世代を越えた交流の場になることを意図した「サロン風月」の本気度は、ますます上がっています。本気ですが、基本は、ゆったり。ゆるーく、楽しい。「サロン風月」来年も開店いたします。 — 企画部長 住川泰道(86学芸)

※校友会は今年も芸術祭を支援いたしました。



会場の様子



ワークショップの様子

同窓会通信

軟式テニス部OB会

2015年6月6日(土)

鷹の台キャンパスにて、軟式テニス部のOB会を開催いたしました。



1961年から1969年入学の9年間、122名のOB中、住所がわかる71名に「OB会開催の案内」を送付。当日34名のOBが出席。

当時軟式テニス部の顧問をされていた安倍泰人名誉教授にも出席いただき、キャンパス内の施設にて、盛大で懐かしいOB会を開催することができました。

OBの多くが50年余りのムサビキャンパスの変貌ぶりを感慨深く、素晴らしい建物群を誇らしげに感じ入っていました。現役ソフトテニス部部长と部員1名の参加もあり、OBと共に懇親を深めました。4時間ほど青春時代へのタイムスリップを楽しみ、国分寺駅近くの居酒屋で2次会も盛り上がりしました。 — 服部和郎(70学産芸)

建築学科28期
卒業20周年同窓会

2015年8月8日(土)

立秋・大安、建築学科



28期卒業20周年同窓会を母校にて開催しました。

コンセプトは“20年目のピクニック”、12号館談話室MAU→図書館&美術館ツアー→8号館建築製図室、と場所を変え、1日限りでしたが、総勢43名の同窓生と20年ぶりのキャンパスライフを楽しみました。

ご参加いただいた源愛日児先生、当時助手でお世話になった小倉康正さんには新校舎ツアー引率を、今年退任された長尾重武先生には閉会のご挨拶をいただきました。母校で素晴らしい時間を過ごし、未来への活力となりました。

開催にあたってご尽力下さった建築学科研究室、大学関係者の皆様ありがとうございました。母校の今後の発展を祈念しております!

(幹事 日高、南、柳、秋田谷)

— 秋田谷浩美(94学建)

パリ賞受賞者・募集

2016年度パリ賞受賞者

小野有美子

2011年度大学院 造形研究科 美術専攻油絵コース修了
別館(2016年4月渡仏)

高石晃

2009年度大学院 造形研究科 美術専攻油絵コース修了
本館(2016年9月渡仏)

2017年度パリ賞募集について

武蔵野美術大学では本学卒業生(卒業、修了後2年以上8年未満)を対象としたパリ賞を設置しています。受賞者には、フランス・パリにある国際芸術都市アトリエを創作活動の場として1年間提供し、副賞として100万円の研究費が支給されます。

パリ賞の応募にはエントリーが必要になりますので、応募を希望する方は事前にエントリーを行ってください。

応募方法等詳細は募集要項をご確認ください。

2017年度募集要項は、2016年4月上旬に大学WEBサイトに掲載予定です。 [パリ賞に関するお問い合わせ] paris@musabi.ac.jp

80周年記念海外留学研究奨励奨学金

武蔵野美術大学80周年記念事業として、武蔵野美術大学または武蔵野美術大学大学院を卒業または修了して海外の大学院に進学し、更に研究を深めようとする者の研究活動を支援するための奨学金制度です。

2015年度募集要項は、大学webサイトに掲載されています。

応募方法等の詳細は募集要項をご確認ください。

http://www.musabi.ac.jp/student_life/tuition/scholarship/alumni/

2015年度武蔵野美術大学卒業・修了制作展

会期：2016年1月15日(金)ー1月18日(月) 通学課程

2016年3月12日(土)ー3月15日(火) 通信課程

会場：鷹の台キャンパス

校友会後援

第12回「武蔵野美術大学建築学科 竹山実賞」のお知らせ

第12回「武蔵野美術大学建築学科 竹山実賞」の募集が始まりました。本学建築学科卒業生・修了生の皆様のご応募を広くお待ちしております。

※募集要項、応募用紙は建築学科Webサイトからダウンロードできます。
<http://www.arc.musabi.ac.jp>

「武蔵野美術大学建築学科 竹山実賞」は今年度の第12回を最後に、今後の募集は行わないこととなりました。これまで支えていただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

2015年芸術祭

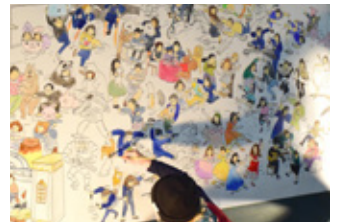
ART SPY

Mau Art Festival 2015

2015年10月24日(土)ー10月26日(月)



中央広場模擬店



ライブペインティング「uwabami」

ムサビ展覧会 美術館・図書館

休館日：日・祝 ※(但し、12/13は特別開館) 開館時間：10:00~18:00(土曜日、特別開館日は17:00閉館)
入館料：無料 問合せ先：美術館・図書館 美術チーム 042-342-6003 <http://mauml.musabi.ac.jp/>

池田良二 一静慮と精神の息吹

平成27年11月24日(火)ー12月19日(土)

美術館 展示室3

助手展2015 武蔵野美術大学助手研究発表

平成27年11月24日(火)ー12月19日(土)

美術館 展示室1、2、4、5 アトリウム1、2

Gallery αM 展覧会

休館日：日・月・祝 開館時間：11:00~19:00 入館料：無料
千代田区東神田1-2-11 アガタ竹澤ビルB1F tel:03-5829-9109 <http://www.musabi.ac.jp/gallery/>

αM2016「トランス／リアルー非実体的美術の可能性」

企画：梅津元(埼玉県立近代美術館主任学芸員)

1. 越野潤	4月9日(土)ー5月14日(土)	5. 角田俊也・伊東篤宏	10月29日(土)ー12月3日(土)
2. 牛腸達夫	5月28日(土)ー7月2日(土)	6. 文谷有佳里	12月17日(土)ー2017年2月4日(土) 冬休み 12/25~1/9
3. 末永史尚・八重樫ゆい	7月16日(土)ー8月27日(土) 夏休み 8/7~8/15	7. 田中和人	2017年2月18日(土)ー3月25日(土)
4. 相川勝・小沢裕子	9月10日(土)ー10月15日(土)		

恩師訃報 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

名誉教授

小泉力雄氏 専門分野：金工
平成27年3月8日逝去(享年76歳)

経歴

昭和44年 武蔵野美術大学 専任講師

昭和47年 武蔵野美術大学 助教授

昭和51年 武蔵野美術大学 教授

平成21年 武蔵野美術大学 3月退任、同年4月名誉教授

名誉教授

加藤昭男氏 専門分野：彫刻
平成27年4月30日逝去(享年87歳)

経歴

昭和58年 武蔵野美術大学 教授

平成10年 武蔵野美術大学 3月退任、同年4月名誉教授

名誉教授

前田正明氏 専門分野：西洋美術史
平成27年10月17日逝去(享年83歳)

経歴

昭和49年 武蔵野美術大学 助教授

昭和55年 武蔵野美術大学 教授

平成11年 武蔵野美術大学 7月退任、同年10月名誉教授

スタディツアー2016「ヨーロッパの美術・建築・デザインを訪ねる旅」

武蔵野
美術大学
校友会
推薦

〈イタリア・ドイツ・オーストリア・チェコ・オランダ・フランス〉

旅行期間：2016年2月15日(月)～3月5日(土)20日間

旅行代金：395,000円(燃油サーチャージ等含まず)

利用予定航空会社：KLMオランダ、フィンランド、エールフランス、いずれかの航空会社(エコノミークラス)

ホテル：3つ星以上(世界ホテル案内より)

食事回数：朝18回/昼0回/夜0回(機内食は除く)

同行講師：武蔵野美術大学・講師 戸塚太郎先生

添乗員：添乗員が日本より全行程同行

最少催行人員：20名(募集41名)

日程：成田⇒(乗継)⇒ローマ(2泊)⇒フィレンツェ(2泊)⇒ミラノ(1泊)⇒ミュンヘン(2泊)⇒ウィーン(2泊)⇒
プラハ(2泊)⇒ベルリン(2泊)⇒アムステルダム(2泊)⇒パリ(3泊)⇒(乗継・機内泊)⇒成田
(⇒飛行機、⇒専用バス、…列車)



フィレンツェドゥオモ(イメージ)

募集説明会：12月11日(金) 武蔵野美術大学 新宿サテライト(新宿センタービル9階) ルームE 17:45～

※武蔵野美術大学校友会は推薦であり、この旅行責任の一切は日通旅行(株)にあります。

【資料請求・お問合せ】 詳しい旅行条件を説明した書面を郵送いたしますので、下記までご請求いただき、事前確認の上お申込み下さい。

日通旅行(株) 団体営業部 営業第3課

TEL: 03-6256-0173

FAX: 03-6212-1522

営業時間 9:00～18:00(月～金)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル

担当：吉野/市川/吉田

Mail: mab-yoshino@nittsu.co.jp

事務局だより

【お願い】 住所、氏名、勤務先等に変更が生じた場合は、電話、FAX、郵便、校友会webサイト、e-mailにてお届けください。また、受賞、展覧会情報、ご意見、ご要望を是非お知らせください。

【編集後記】 総会、アート&デザイン、「サロン風月」の開催報告とインタビューをはじめ、ムサビの仲間達の活躍を紹介させていただきました。皆様にとって来年が健康でよい年になりますようにお祈りいたします。今年もご愛読いただき、ありがとうございました。 —広報部

会員特典

大学施設利用

武蔵野美術大学 美術館・図書館&イメージライブラリー&大学寮の継続利用。
美術館・図書館およびイメージライブラリーは館内のみ利用できます。
※利用時、校友の確認あり/半期単位の利用登録も可
大学寮(奈良寮・五箇山無名舎)は卒業生料金にて利用できます。
※大学総務チームへお問合せください。

【大学総務チーム】

Tel: 042-342-6021
Fax: 042-342-6453
<http://www.musabi.ac.jp/outline/facility/welfare/>

画材・ギャラリーの割引

お申込み、問合せは各ギャラリー・画材店へ直接お願いいたします。

画材

【世界堂 武蔵野美術大学店】

Tel: 042-342-6971

Fax: 042-349-3345

Mail: worldwhite@sunny.ocn.ne.jp

<http://www.sekaido.co.jp>

ギャラリー

【参考・校友会Webサイト

美術関連サイトリンク】

<http://www.msb-net.jp/link/index.html>

全国のプリンスホテル施設の優待利用

会員特典として特別価格にてご利用できます。

【(株)プリンスホテル予約センター】

利用方法: <http://www.princehotels.co.jp/keiyaku>

(パスワード: prkeiyaku)

お申込み・パンフレット請求: (株)プリンスホテル予約センター

Tel: ☎ 0120-33-8686

携帯からは 0570-02-8686

お電話でご予約の際は「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝えください。

日本フィルハーモニー交響楽団演奏会優待利用

定期演奏会ほか規定の演奏会が10%割引になります。

利用方法: <http://www.japanphil.or.jp/ticket/>

ログイン

ID: msb-alumni

パスワード: msb_2015を入力*

Tel: 03-5378-5911

Fax: 03-5378-6161

(平日10:00-17:00)

Mail: scd@japanphil.or.jp

お電話でご予約の際は「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝えください。

※2015部分は、毎年その年の数字に変わります。

クリエイターとして生きる! と決めた人生



株式会社コリーガ
www.collega.jp

応援します



彩りある 未来創造パートナー



www.kusakabe-enogu.co.jp

- Artist's Oil Color
- Water Color
- Aqyla
- Daler-Rowney
- Silver Clay
- Others



エミュ武蔵野美術大学店

営業時間: 8:00～20:00 日曜定休

ふんわり、しあわせの味。
とっておきのおいしさを
お届けします。

<http://www.ichikawa-bake.com>



東京都小平市小川町1-736 TEL: 042-342-9539 株式会社イチカワ

インターネットでお買い物

自宅に居ながらかやっぱ1番の魅力、
欲しいものをすばやく探す。

ON-LINE SHOP <http://webshop.sekaido.co.jp/>

SEKAIDO

世界堂オンラインショップ

検索

TEL・FAX・封書でも
注文うけたまわります。

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-1-1 世界堂ビル 6F
TEL: 03-5360-1009/FAX: 03-5360-4010 (24時間受付)
営業時間 9:00～18:00 定休日 日曜日



文具・画材・額縁の専門店

世界堂



武蔵野美術大学店

〒187-0032

東京都小平市小川町 1-736

TEL 042-342-6971 FAX 042-349-3345

※地方発送承ります。お気軽にお問い合わせ下さい。